

# 熊本市の取り組みについて

熊本市健康福祉子ども局

## 【国の動き】

施策を総動員し、「在宅医療・介護」を推進(予算、制度、報酬、組織)、在宅医療連携拠点事業、都道府県リーダー研修

## 【県の動き】

①熊本県在宅医療連携体制検討協議会、②地域リーダー研修、③各郡市医師会・市町村・包括への説明会、④圏域ごとの取り組み

## 【熊本市の動き】

### 市全域（H24年度）

くまもと医療都市2012グランドデザイン「高齢者や障がい者が住みなれた地域でいきいきと暮らせる都市」

＜これまでの取り組み＞

- ① くまもと在宅医療・介護ネットワーク検討会
- ② 「在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会」の開催(1月、3月)
- ③ 市民啓発

### 地域ごとの特色を活かしながら取り組みを進めていくことが必要（H25年度～）

※熊本市内でも地域によって医療・介護資源等にバラつきがある

#### 【区単位での多職種連携を目指す】

区毎のエリアでの在宅医療と介護に関わる多職種連携(研修会等、事例発表会等)

地域の在宅医療・介護に関係した多職種の方々ができるだけ多く参加できる場の提供

実際連携を行うレベルにおける多職種連携の充実につながる(例えば地域ケア会議の充実など)

# 東区における多職種連携に向けた取り組み

## 職種内における連携、意見の集約

### 各職種の世話人会

- 職種内の連携強化
- 職種ごとに多職種連携における課題を抽出・整理

医師

歯科医師

薬剤師

看護師

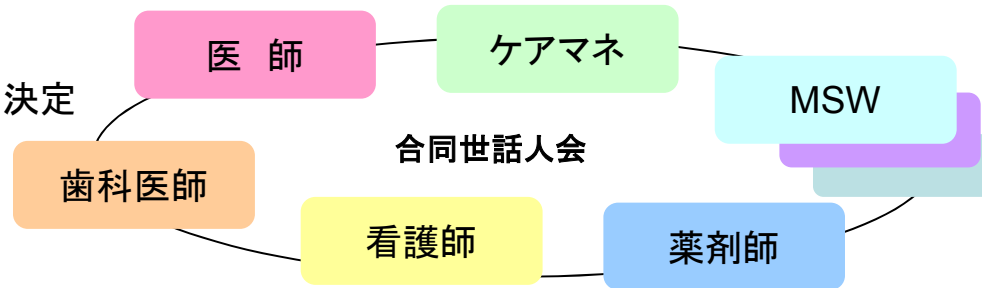
ケアマネ

MSW

## 多職種連携のあり方、方向性の検討

### 多職種の合同世話人会

- 東区における多職種連携のあり方や方向性の決定
- 多職種連携研修会等に向けた準備 など



## 多職種連携の実現

### 多職種連携を実現させる場の提供

- 多職種連携研修会の開催など
- 地域の一人ひとりが多職種連携を実現させる

# 在宅医療相談窓口

- 【相談時間】 平日の午前9時～午後5時  
(但し正午から午後1時までを除く)
- 【対 象】 市民または 医療・介護関係者など  
(いずれも熊本市内にお住まいの方)
- 【相談方法】 電話相談
- 【電話番号】 **096-364-2600**
- 【主な相談内容】

在宅医療に関する問合せや相談  
地域の医療資源等に関する問合せ など

在宅医療って  
なんだろう？

入院患者さんが自宅に帰りたいと言っているが  
かかりつけ医がいない...

薬の管理がうまく  
できないのですが...

自宅で看取りたいのですが、  
家族の力になってくれる  
お医者さんはいませんか？

# 「在宅医療相談窓口」で把握している情報

## • 医療機関における在宅医療の取り組み状況

（訪問診療、往診、在支病/診の届出）

（訪問に対応している歯科診療所、薬局）

## • 在宅で対応できる処置

（在宅酸素療法、人工呼吸器管理、疼痛管理、ターミナルケア、中心静脈栄養、経管栄養）

## • 専門診療科目の対応

（皮膚科、眼科、小児科）

## • 面談等の対応可能な時間帯

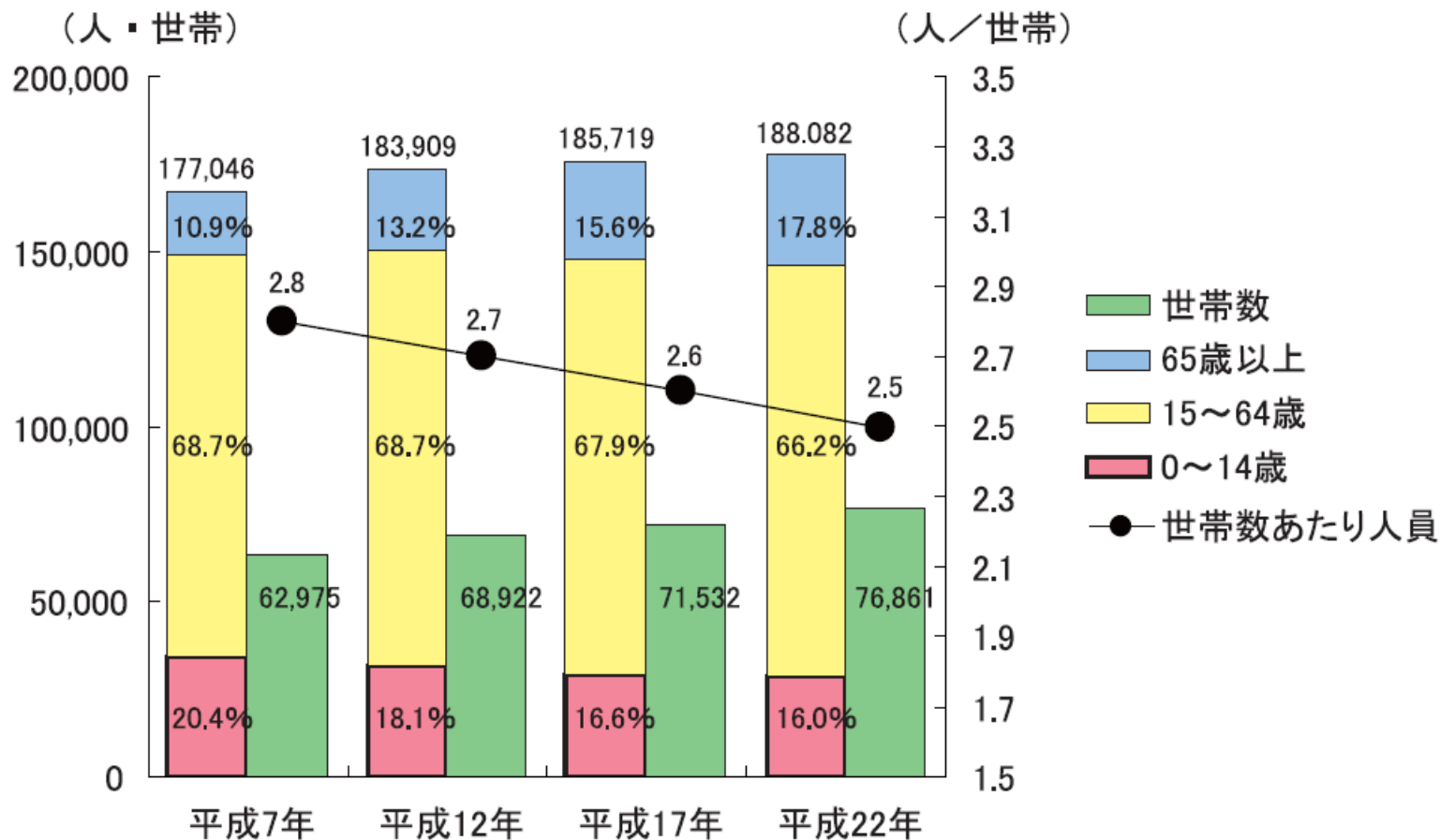
（いわゆるケアマネタイム）

## • 担当者会議などへの医師の参加の可否

★在宅医療資源マップや区毎の関係機関一覧なども作成しています。ぜひご利用ください。

# 【参考資料】

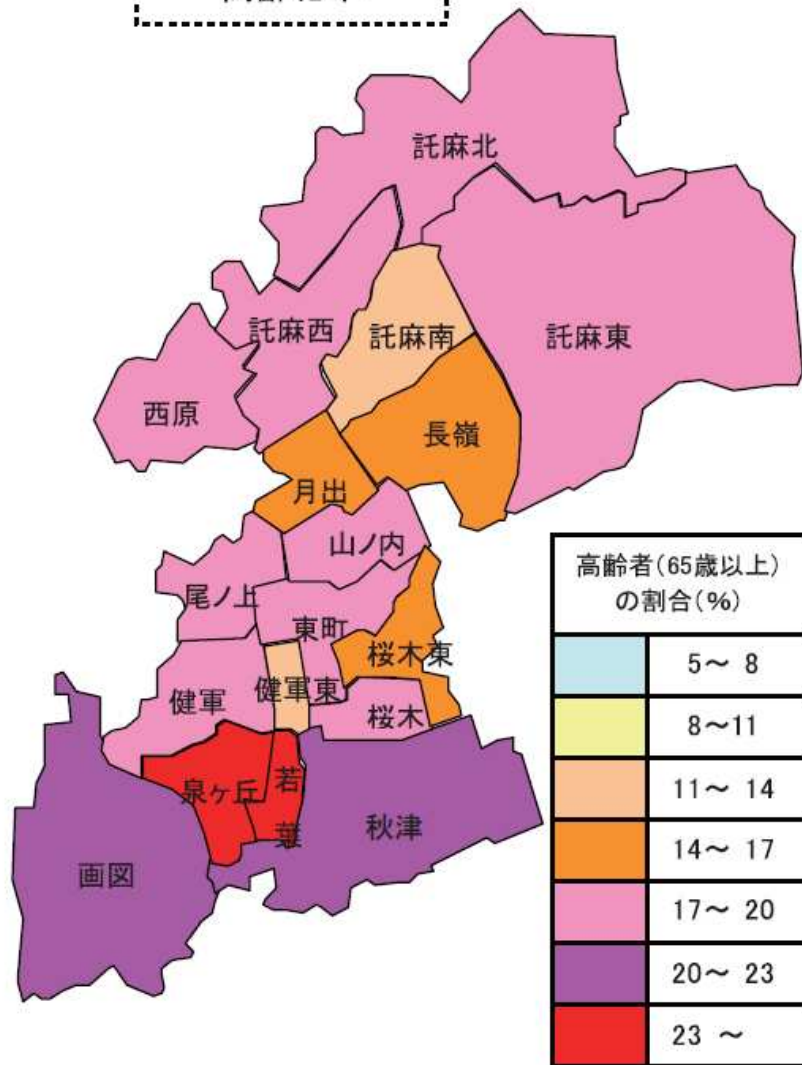
## 年齢構成別人口の推移(東区)



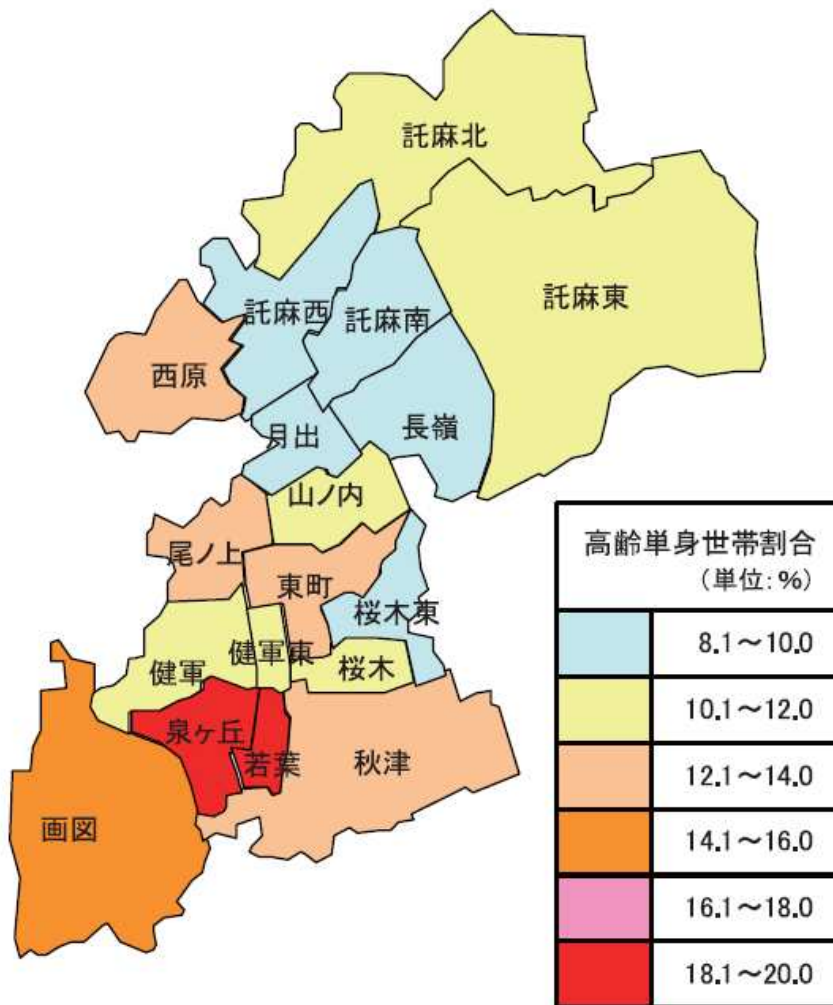
出典：H22 国勢調査の調査票情報を用いて  
熊本市統計課にて独自集計

# 高齢化率と高齢単身世帯率(東区)

高齢化率

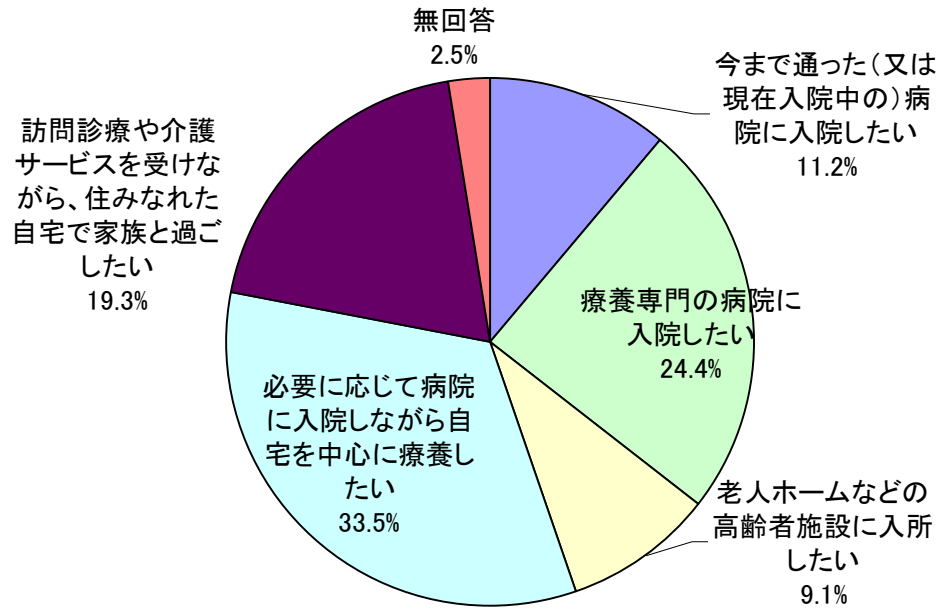


高齢単身世帯率

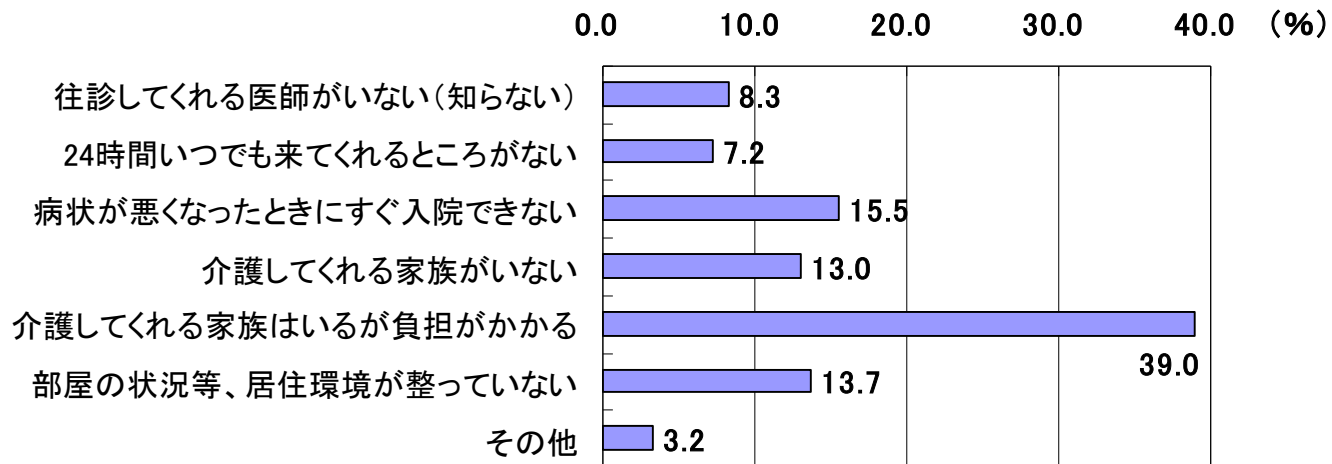


出典:住民基本台帳より(H24.6.1)

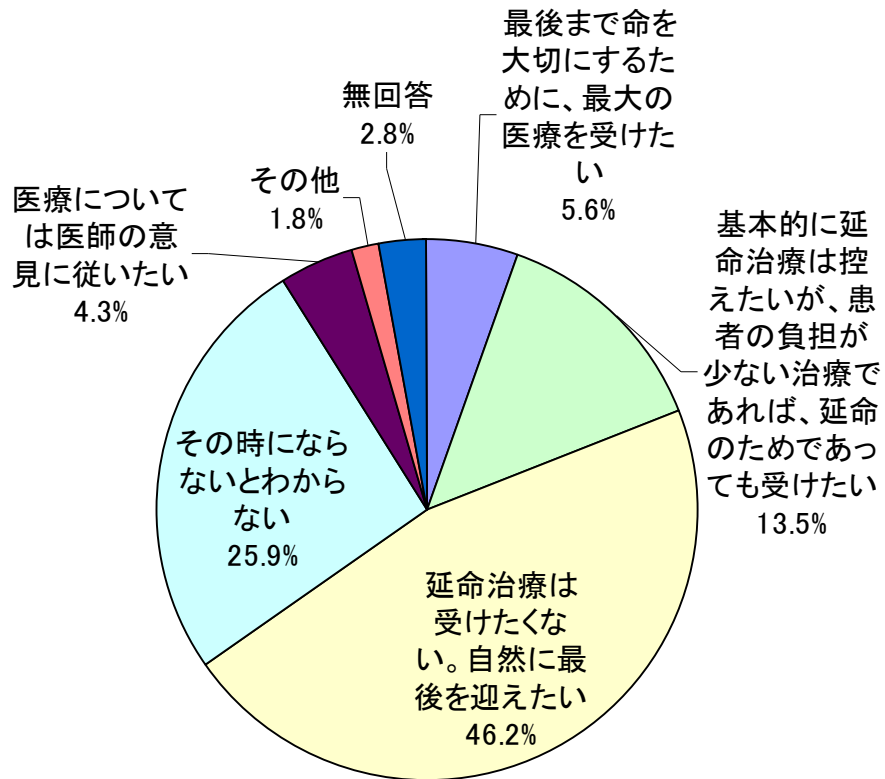
# 長期の療養(介護)が必要になった時の療養場所(東区)



# 自宅での療養に対する不安の理由(2つまで)(東区)



## 終末期にどのような医療を受けたいか(東区)



## 終末期の医療の受け方(延命治療等)について日頃から考えているか(東区)

